

平成 22 年度春期 IT パスポート試験分析速報

2010,4,18 (株)アイテック 情報技術教育研究部

1 . 試験全体講評

新試験制度で 3 回目の実施となる IT パスポート試験について説明します。応募者数は前回同期比で 135.9%の 63,680 人と大幅に増加しました。

平成 22 年度春期の試験問題は平成 21 年度秋期と比べて、システム開発や技術系の問題や計算問題など、基本情報技術者試験 (FE) で出題されるような内容の問題が多く出題されました。難易度は平成 21 年度秋期と比べて、同等といえるでしょう。難解な問題も数問出題されましたが、内容的には定番の問題でした。

2 . 分野別出題割合

出題比率を分野、大分類ごとにまとめると次の表のようになります。分野では、「ストラテジ系」が 35 問、「マネジメント系」が 25 問、「テクノロジー系」が 40 問で、平成 21 年度春期、平成 21 年度秋期と変わりませんでした。大分類では、前回の平成 21 年度秋期と比較すると、「システム戦略」、「開発技術」、「サービスマネジメント」、「基礎理論」が増加し、「企業と法務」、「プロジェクトマネジメント」、「コンピュータシステム」、「技術要素」が減少しました。問題の増減数は 1～4 問程度ですが、今後も、多くの増減があると思われま

分野		大分類	平成 21 年 度春期	平成 21 年 度秋期	平成 22 年 度春期
ストラテ ジ系	35 問	企業と法務	17 問	13 問	11 問
		経営戦略	11 問	15 問	15 問
		システム戦略	7 問	7 問	9 問
マネジメ ント系	25 問	開発技術	8 問	8 問	11 問
		プロジェクトマネジメント	10 問	9 問	5 問
		サービスマネジメント	7 問	8 問	9 問
テクノロ ジ系	40 問	基礎理論	9 問	7 問	10 問
		コンピュータシステム	11 問	11 問	10 問
		技術要素	20 問	22 問	20 問
合計			100 問	100 問	100 問

3. 問題講評

平成 22 年度春期の試験の傾向として、基本情報技術者（FE）試験で出題されるような内容の問題が多く見られました。IT パスポート試験は受験層も多岐にわたるところから、受講者の中には難しく感じられた方もいたかもしれません。また、IT 用語として目新しい問題も数問出題されましたので、日々変化していく IT 市場動向などをチェックしていくとよいでしょう。IT パスポートの出題範囲の問題を万遍なく勉強して、知識をひとつひとつ習得するように心がけてください。

ストラテジ系

ストラテジ系分野の問題として、業務要件、調達、バランススコアカード、SFA、ASP、M&A、DFD、ABC 分析、取引の成立、営業利益、損益分岐点、予想利益、導入機械の採算性評価、ブレンストーミング、業務の流れを表す図、著作権法、不正アクセス禁止法 JAN コードなどが出題されました。これらは、IT パスポート試験及び旧初級システムアドミニストレータ試験で出題された問題とさほど変わらない内容です。計算問題が 4 問と多く出題されましたが、どれも定番の問題ですので、慌てなければ確実に解ける内容でした。

この分野の新傾向問題としては、ビジネスモデルを保護する法律に関する問 7、経営戦略の分析を求める問 9、TOB の説明に関する問 17、企業の経営状況を外部に公開することを求める問 19、システム開発案件の採算性に関する問 21、ハウジングサービスを利用する効果を求める問 22、ロングテールの考え方に関する問 27 などがありました。

マネジメント系

マネジメント系分野の問題として、ソフトウェア要件定義、単体テスト、ソフトウェア結合テスト、ソフトウェアの受入れ、SLCP、PDCA、開発日数、アローダイアグラム、プロジェクトマネージャの作業、開発予算、構成管理、インシデント管理、UPS、内部統制、内部監査などの問題が出題されました。この分野も以前からよく出題される問題の内容です。プロジェクトマネジメントの問題が減り、開発技術の問題が増えました。開発技術の問題として、表計算ソフトや流れ図を題材とした問題が、IT パスポート試験では初めて出題されました。

この分野の新傾向問題としては、機能追加となる変更依頼を受けた場合の受託側の対応に関する問 36、ファシリティマネジメントにおける環境整備の実施事項を求める問 39、ワークシートの動作を確認する結合テストに関する問 40、内部統制を整備、運用する役割と最終責任を求める問 45、ソフトウェアの動作ロジックの流れ図に関する問 50 などがありました。

テクノロジー系

テクノロジー系分野の問題として、基数変換、集合、組合せ、決定表、スタック、変数のデータ入替え、キャッシュメモリ、フラッシュメモリ、ディスプレイ、サンプリング、OS、ジョブ、表計算ソフト、XML、MTBF、稼働率、TCO、主キー、MIME、Cookie、ADSL回線、ルータ、ポート番号、ファイアウォール、共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、デジタル署名、電子証明書、ソーシャルエンジニアリングなどの問題が出題されました。ITパスポート試験及び旧初級システムアドミニストレータ試験で出題された内容の定番の問題も多くありましたが、基本情報技術者（FE）試験で出題されるような難易度の高い問題も数問ありました。

この分野の新傾向問題としては、情報セキュリティ文書の詳細化に関する問 61、情報漏えいを防ぐ方法を求める問 72、電子透かし技術に関する問 74、ゆがんだ文字の画像を読み取って入力する目的に関する問 75、非接触型 IC カードに用いられている技術を求める問 78、サーバの仮想化技術に関する問 86、デジタル化した音声信号の図を求める問 88 などです。

中間形式について

前回の平成 21 年度秋期と同等の難易度の内容と思われます。

・中間 A 在庫管理システムの開発計画

システム開発における内容、作業分割、クリティカルパスの日数、スケジュールの誤りを求めるマネジメント分野（開発技術、プロジェクトマネジメント）の問題が出題されました。

・中間 B 文献の貸出管理業務

文献システムのデータベース構造、DFD、文献検索機能の流れ図、文献未返却者の抽出方法に関するテクノロジー分野とストラテジ分野の問題が出題されました。

・中間 C 事業戦略立案

SWOT 分析の分類に該当する状況、強みに分類される状況、強みを更に伸ばすための方策、市場シェアに基づいた戦略を求めるストラテジ分野（経営戦略マネジメント）の問題が出題されました。

以上